

広げよう福祉の輪！

三徳だより

第77号 2013年(平成25年)夏 一季刊一

発行：社会福祉法人 三徳会
<http://www.santokukai.com>



荏原在宅サービスセンター
ご利用者共同作品

特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX. 03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX. 03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp
戸越台第二在宅介護支援センター <http://www.togoshiginza.net/togoshi/machi/topics/topics.cgi>
〒142-0041 品川区西品川1-28-3 TEL.(代)03-5750-7707 FAX. 03-5750-7709

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX. 03-5750-3695 santokukai@aw.wakwak.com
小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX. 03-5794-8512

品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX. 03-5749-7252
小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX. 03-5498-0646

昔、父は町会長、民生委員と毎日忙しくとび廻っていたのを思い出します。父を意識して来たわけでもないのに何故か知らず知らず父と同じ道を歩んでいます。地域のために自分でできることを自分なりにお手伝いしていくという気持ちは一緒だったのだと思います。当時、父は息子の私から言うのもおこがましいですが、お年寄りの人にはとてもやさしく親切で、若者には「キミ、キミ」と呼び止めて注意していました。父を超えることはできませんが、私も、町会長、民生委員と引き受け、微力ながら少しでもお役に立てばと頑張っています。私自身高齢者の一人です。

我が荏原第一地区でも高齢者の方が多くなってきました。お陰様で私の町会の中に区の施設である「ほっとサロン」が設けられており、お年寄りの集う場となっています。サロンの行事の中の「なごみ」では、ひとり暮らしの人々が集い、カラオケやお茶でお喋りをしたり、お食事会などをしています。また「うらく体操」や「トリム体操」、「囲碁」、「輪投げ」等いきいきと活動しています。その他に荏原第一地区の民生委員協議会の行事として高年者懇談会を2か月に一度ではありますが、食事をしながら音楽を聞いたり、「荏原のきみまろ」と称する方にお笑いを依頼したり、または専門家の先生から健康に関するお話を聞く等の企画を立てて行っております。

先日4月の懇談会の折、いつも「食事をしながら楽しく過ごしました。いつもご苦労さまで

す。楽しかったわ。ありがとう」とお礼を言いながら帰る方が、その日は「お世話してくださる皆様へ」と筆文字でそれはそれは達筆な手紙と一枚の短冊を手渡して帰って行かれました。早速拝見させていただきました。私達の企画を毎回楽しみにしてとても満足していて、心から感謝してお礼が言いたかったと言つのです。一枚の短冊には「もてなしは 春の膳なり 老人会」とありました。我々にとつて、とても嬉しいことで何か元気がもたらえてやりがいを感じました。

地域の皆さんと 心豊かに和やかに



荏原第一地区連合町会長

お 生 恭 さん
三 瓶

思います。動けなくなってしまう、家に一人いても心配、何もできない、近くの施設の空きもないということから郊外の施設へと移ってしまつ方も少なくありません。私の母も三か月で病院を移らなくてはならない、しかし、近くの病院の空きもないということで、在宅介護にいたしました。家族は皆仕事をしているので、母はいつも一人で寝ていました。

ある時、私は「おふくろ、一人で寝ているとさびしいだろう。病院の方がさびしくなくていいんじゃないか」と聞いてみました。脑梗塞から体が不自由になって口もきけない母は「ううん」と首を大きく振りました。一人にされても家の方がよいと言つのです。住み慣れた自宅が心ゆるせて安心できる「オアシス」だったようです。三年半家族に面倒を見てもらいながら終末を迎えました。

現在は核家族と言つて、お年寄りの入る隙間がなくなってきたのが現状だと思えます。在宅介護も難しくなってきた。せめて住み慣れた町で暮らせるように動ける人は動けない人のために、地域のお年寄りは地域で面倒を見てあげる、こんな共同生活のできる場が地域に何か所でもあればと願っています。

生きているうちは夢に向かってチャレンジする意欲が心も体も若返らせると言います。これからも役所とのパイプ役になりつつ、地域の皆さんと一緒に心豊かに和やかに楽しい活動にしていきたいと願っています。

平成24年度に寄せられたご意見・ご要望などです

施設では意見箱の他、懇談会、面会時などで、皆さまからのお声を伺っています。
主なものをご紹介します。

施設名	ご意見・ご要望の内容	改善内容
特別養護老人ホーム	衣類が傷んだ場合は連絡が欲しい。	気を付けてまいりますが、季節の衣替えや持ち物の確認等はお家族のご協力もお願いします。
	どのようなリハビリを実施しているのか？	週2回リハビリの日を設けています。立位や歩行の訓練、座位保持訓練、嚥下体操等その方に合った内容を提供するようにしております。また歌や会話等で気分転換を図ることにより精神面のリハビリの要素もあります。
	看取り介護とはどのようなことか？	終末期が近くなったと思われる時には、ご家族、医師、看護師、ワーカーと相談をしながら対応方法を決めていきます。看取り介護を希望された場合は、最期までホームで安心して過ごしていただけるように各セッションでの連携のもと計画を立て、介護をさせていただいております。
	毎日おやつを出して欲しい。	施設では健康上の問題でおやつを制限する方もいらっしゃり、週1回にしています。コーヒーや紅茶などの飲み物は毎日楽しんでいただいています。また、個々におやつを希望される場合は、お好きなものを伺って購入したり、面会時にお持ちくださるようお願いしています。
	施設内の老朽化が進んでいるので修繕が必要な箇所が見受けられる。	大規模な修繕は計画的に行っております（冷暖房の交換、ベッドの交換、壁紙交換等）細かい部分に関してはその都度修理、交換等を行ってまいります。
	入所後に居室を変わることはあるのか？	入所時は空いた居室をご案内しています。入所後に、身体状態の変化により変更を行う場合があります。また、人間関係等で変更した方がよいと判断した場合、ご相談させていただきます。
在宅サービスセンター	送迎車を停車する位置が悪い。（近隣の方から）	送迎車への乗降で時間のかかってしまう場合もありますが、なるべく短時間でご迷惑にならないように配慮を行ってまいります。



笹 菖蒲 柚子 南天

きしめん

あんこ

新品タオル

衣類

介護用品

車椅子

リハビリシューズ

紙オムツ

防水シート

介護用汁椀

歌謡曲・映画DVD

懐メロCD

寄付物品

ボランティアポイント寄付

110,600円

3,632,000円

寄付金

3,632,000円

平成24年度に寄せられた
ご寄付内容です

▼情報公開について▲

三徳会では、地域の皆様方および関係する方々に三徳会に対するご理解ご協力をいただくため、平成24年度の決算の概要と事業報告を公開いたします。
紙面の関係からお知らせする内容は、概要のみとなっておりますが、詳しくお知りになりたい方は各施設の窓口にお申し出ください。

2. 平成24年度事業の主な実績 <各施設利用状況>

① 特別養護老人ホーム（平成25年3月31日現在）

		成 幸	戸越台	荏 原
定 員		80人	72人	120人
現入所者	男 性	14人	15人	15人
	女 性	62人	53人	89人
平 均 年 齢		88.4歳	88.5歳	90.3歳
最高年齢	女 性	105歳	103歳	105歳
	男 性	94歳	94歳	93歳
平 均 要 介 護 度		3.6	3.7	3.7
新 入 園 者		31人	14人	30人

② 在宅介護支援センター

(単位：件)

		成 幸	戸越台	戸越台第二	荏 原	小 山	小山台	合 計
要介護認定調査件数		486	485	507	419	516	362	2,775
相 談 者 数		6,838	8,322	9,779	10,283	10,672	6,314	52,208
居 宅 支 援 件 数		4,050	4,089	3,815	3,558	3,570	2,645	21,727
内 訳	要介護1～5	2,246	2,375	1,944	1,875	1,944	1,659	12,043
	要支援1～2	1,804	1,714	1,871	1,683	1,626	986	9,684

③ 在宅サービスセンター

(単位：人)

		成 幸	戸越台	荏 原	小 山	合 計
基本デイサービス（延）		5,103	8,442	10,406		23,951
定 員		20	30	40		90
内 訳	予 防 給 付	1,879	2,214	3,354		7,447
	介 護 給 付	3,224	6,228	7,052		16,504
平 均 要 介 護 度		2.1	1.9	1.8		
認知症デイサービス（延）		1,530	2,369	2,070	2,191	8,160
定 員		10	10	10	10	40
平 均 要 介 護 度		2.8	2.4	2.2	2.0	
身近でトレーニング（延）			746	442		1,188
身近でリハビリ（延）			1,362			1,362

④ ショートステイ

(単位：人)

施設名（定員）	成 幸（16人）	戸越台（8人）	荏 原（30人）
利 用 者 数 （延）	5,978	3,128	10,979
平 均 要 介 護 度	2.6	2.4	2.6

1. 平成24年度決算の概要（平成25年3月31日現在）

① 貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	823,143,823	流 動 負 債	169,447,210
固 定 資 産	2,850,810,562	固 定 負 債	119,746,032
		負 債 の 部 合 計	289,193,242
		純 資 産 の 部	
		基 本 金	473,161,831
		国庫補助金等特別積立金	156,805,086
		そ の 他 積 立 金	1,428,836,174
		次期繰越活動収支差額	1,325,958,052
		純 資 産 の 部 合 計	3,384,761,143
資 産 の 部 合 計	3,673,954,385	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	3,673,954,385

② 財産目録

資産の部 負債の部 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産 合 計	823,143,823	流 動 負 債 合 計	169,447,210
基 本 財 産	1,098,163,921	固 定 負 債 合 計	119,746,032
そ の 他 の 固 定 資 産	1,752,646,641		
資 産 合 計	3,673,954,385	負 債 合 計	289,193,242
		差 引 純 資 産 合 計	3,384,761,143

③ 事業活動計画書（社会福祉事業区分）

(単位：千円)

科 目	本 部	成 幸	戸越台	荏 原	合 計
サービス活動収益計	6,658	531,351	721,404	922,590	2,182,003
サービス活動費用計	15,219	554,433	706,315	962,750	2,238,717
サービス活動増減差額	△ 8,561	△ 23,082	15,089	△ 40,160	△ 56,714
サービス活動外収益計	12,464	1,285	1,208	1,936	16,893
サービス活動外費用計	9,740	25	1	4	9,770
サービス活動外増減差額	2,724	1,260	1,207	1,932	7,123
経 常 増 減 差 額	△ 5,837	△ 21,822	16,296	△ 38,228	△ 49,591
特 別 収 益 計		5,343			5,343
特 別 費 用 計	40,115	12,490	155	502	53,263
特 別 増 減 差 額	△ 40,115	△ 7,147	△ 155	△ 502	△ 47,920
当 期 活 動 増 減 差 額	△ 45,952	△ 28,969	16,141	△ 38,731	△ 97,510
前 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	52,165	785,420	199,307	302,372	1,339,265
当 期 末 繰 越 活 動 増 減 差 額	6,213	756,451	215,448	263,641	1,241,754
そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額	6,098			23,307	29,405
そ の 他 の 積 立 金 積 立 額	3,742				3,743
次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	8,569	756,451	215,448	286,948	1,267,417

- 三徳会では、法人が実施している社会福祉事業の財政状態、事業活動の成果及び収支の区分を報告するため、社会福祉事業区分を設定し、法人本部、成幸、戸越台、荏原の4拠点区分に分類しています。
 - 千円未満を四捨五入して関係縦、横の合計が一致しないものがあります。
 - 詳しくお知りになりたい方は、各施設の事務室にお尋ねください。
- ※注1) 平成24年度より会計基準を指導指針から社会福祉法人会計基準へ移行しています。

戸越台ホーム



「元気を届けたくれました！」

6月20日と24日、京陽小学校4年生の生徒さんたちが戸越台ホームに訪ねてきました。京陽小学校では、学年ごとにボランティア活動計画を立てて、生徒さんたちがボランティアに関心が持てるよう取り組んでいるとのこと。今回4年生は、特養で生活するおじいさん、おばあさんたちに喜んでもらいたい、自分たちができることを各グループで考え、準備して、リコーダーの演奏や歌、手品や紙芝居、劇などを披露してくれました。ちょっと緊張しながらも、一生懸命歌ったり、演技する子供たちにご利用者は目を細めて拍手を送っていました。折り紙や絵のプレゼントと一緒に生徒さんたちは、笑顔と元気を届けたくれました。



成幸ホーム



「季節のおやつに挑戦！」

成幸デイサービスでは今年度、季節のおやつ作りを楽しんでいます。4月は春色クレープ・5月はこいのぼりどら焼き・6月はあじさいゼリー・7月はスイカ割りを行い、その後、フルーツポンチを作りました。おやつ作りが始まると、チームに甘い香りが漂い、匂いにつられてご利用者も率先してお手伝いして下さいます。ゼリーがなかなか固まらなかつたり、ホットケーキミックスの分量が少なすぎたりと、いろいろトラブルはありましたが、その都度皆さんから意見をいただき、何とか完成にこぎつけています。今度は何を作るうかと、話し合いながら食べるのも楽しいひととき。冬になったら焼き芋を作りたいというご要望に、今から頭を悩ます職員たちです。



小山の家



「猛暑の夏にはやっぱりこれでしょ！」

7月初旬、連日の猛暑にまだ身体が慣れず皆様お疲れの様子。「こんなに暑い日は冷たい食べ物で涼を感じたい」ということで何を召し上がりたいか皆様に伺うと「アイヌ！」と第一声。アイスクリームのレシピを探すと「濃厚アイスクリーム」の文字があり、これに決定。作り方はなんと卵・牛乳・砂糖をトロトロになるまで温めてから冷凍庫で冷やす変わった作り方。焦がさないよう弱火でじっくりトロトロになるまで鍋をかき混ぜること約15分。冷凍庫で冷えるのを待ち、いざ試食。「ああ、とても美味しい！」と、大好評。アイスクリームは手作りが一番だと思わせるような出来栄でした。

荏原ホーム



「正面から優しくゆっく〜」

認知症サポーター養成講座(荏原・成幸支援センター) 6月27日、平塚二丁目町会会館にて町会の皆さまに向けて認知症サポーター養成講座を行いました。認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を自分のできる範囲で温かく見守り支えていく人のことで、認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目的に全国で養成講座が開かれ、参加者には目印のオレンジのブレスレットが配られます。当日は、ビデオや講義、職員による寸劇等を通して、認知症は誰もがなりうる脳の病気であることやその種類・症状、身近な相談先、そして、接し方をお伝えしました。合言葉は「正面から優しくゆっく〜」です。在宅介護支援センターではこのような出前講座のご依頼を地域の団体から承ります。

荏原ホーム ボランティア

山本 貞子 様

「お父さん（ご主人）がお世話になった恩返しで、ボランティアに来ています。来るのが楽しいんです」と話す山本貞子さん。荏原ホームのショートステイで週に2回、ひと際明るい声と温かい眼差しでご利用者のお話し相手をしたり、テキパキとお茶を配ったり、ビデオ鑑賞のお手伝いをしてくださっています。



20年近く前に、近所の方の介護を頼まれ、そのためにヘルパーの資格も取り、入浴サービスの送り迎えに成幸ホームに入居していた頃から三徳会とつながりがあります。ボランティアを始めたいきっかけは、介護が必要になったご主人を荏原ホームの入浴サービスに連れてきていた時に、ご自分から「何か手伝わせてよ」と話をしたことです。ご主人の介護の合間を縫って、最初は洗濯室で1年、その後は3階の食堂で数年、そして、3年前に足をケガをしてからは、しゃがまなくてもいいからと職員に勧められてショートステイでボランティアを続けています。

ご主人の介護は24年間しましたが、荏原ホームで入浴サービスや食事サービス、ショートステイを利用し、特にご自分が倒れた時には、入所させてもらえたことがほんとうにありがたかったとのこと。そのご主人は3年前に亡くなられましたが、今こうしてボランティアを続けているのは、「お世話になった恩返しです」と言葉をいただきました。そして、「週2回来るのが、とても楽しい。顔見知りが多くなり、利用者さんの方から声を掛けてもらえ、中には帰る時にエレベーターまで送ってくださいる方もいて、幸せ。それに、いい勉強をさせてもらっています」といきいきと話が続きました。ボランティアをする上で心掛けていることは、「腹を立てないこと。おらかな態度で接するようにしています」とのことです。

現在87歳。元気の秘訣は、「楽しみがあること」。私たちも、山本さんから元気をいただき、そして、教えられることがとても多いです。これからもよろしくお願ひします。

手間をかけずに美味しく作る

らくらくクッキングコーナー

【生姜たっぷりつくね焼き】

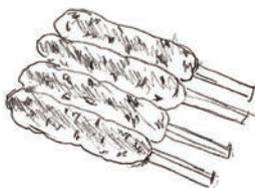
冷房による冷えや冷たい水分の摂りすぎによる体の冷えを、生姜や葱が改善してくれます。生姜の薬効成分の7割近くが皮のすぐ下に含まれています。皮はよく洗ってむかずに使いますよ。

【材料】 2人分

とり挽肉	200g
生姜	1かけ
万能葱	4本
味噌	大さじ1/2
卵	1/2個
片栗粉	大さじ2
サラダ油	少々

【作り方】

- ① 生姜はみじん切り、万能葱は小口切りにする。
- ② ボウルに①ととり挽肉、味噌、卵、片栗粉を入れて、手でよく混ぜ合わせる。
- ③ ②を四等分にして、それぞれ割り箸に棒状にくっつけて、形を整える。（小判型でもよい）
- ④ フライパンにサラダ油を熱し、③を入れて焼きつける。焼き色がついたら火を弱め、フタをして中まで火を通す。



〈1人分〉

熱	量：283kcal
たんぱく質	：24.6g
塩	分：0.3g

つらっしやうー！

明日の介護を担う人たち！

5月18日、7月27日と三徳会では就職説明会・施設見学会を行いました。それぞれ20名あまりの参加者は、三徳会の概要・特徴等の説明を受け、荏原・成幸・戸越台の3施設をマイクロバスで回りま

した。

平成27年には品川区平塚橋にできるユニット型特養ホームの開設も控えており、私たちと共に働く、有望な人材を必要としております。今回のような見学説明会は9月14日にも予定していますし、施設見学・面接は随時受け付けております。

私の宝物



「正直にやっていたら怖いことはない」これが若い時からの考えなの。21歳で結婚、34歳の時にちよつとした縁で数人の仲間

で洋食屋を始めて、88歳まで頑張ったのよ。病気になるなければ今だって働きたいわ。今お店は息子と娘が続けてくれているの。開店当初はインドカレー専門のお店で、店の名前もカレースパイスの種類からつけたのよ。今でもそのカレーライスは大人気。メンチカツ、ハンバーグ、魚のフライも人気があるのよ。でも実は私は魚が苦手なの（笑）。今はキャベツの千切りも便利な物があるけど昔は全て包丁だったわ。ハンバーグのソースは難しくて作れなかったな。仕事は朝から夜遅くまで頑張ったのよ。

荏原ホーム

廣田 富美 様

だから子どもには負担をかけてしまつてね。「子育てがちゃんと出来なくてごめんね」と言ったら「お母さんは一生懸命仕事をしていんだからそんなこと言わないで」と言ってくれるのよ、嬉しいわよ。息子が遅くまで働いているからせめて帰ってくるのを待っていて「今日もご苦労様でした」と言っておきたいの。でもね「早く寝ていなよ」と言ってくれてさ。一緒に一杯やってから寝ることもあったのよ。私は梅酒が好きでね。一生懸命働いたご褒美はカクテルだったわ。定休日の前日は朝まで唄ったのよ。お客さんの笑顔を見ると頑張れたな。働けるうちが華よ。何でも嘘をつかず、正直に。嫌なことでもユーモアを持って考えれば嫌じゃなくなるから。

お店の名前は内緒。だって、小さい店だし、これ以上息子や娘が大変になると悪いからね。

ひとりごと

—職員リレーエッセイ—

好きなコトバ

むずかしいことをやさしく
やさしいことをふかく
ふかいことをおもしろく
おもしろいことをまじめに
まじめなことをゆかいに
ゆかいなことはあくまでもゆかいに

作家・井上ひさしさんの言葉です。

目の前にある「むずかしいこと」をいかに難しそうに顔でやるのは誰にでもできること。

それではちつとも面白くないので、忙しい日々の中でも「むずかしいことをやさしく」「まじめなことをゆかに」感じながら、コク口も体もまあるく、笑顔でしなやかにいきたいと思っています。

そんなことを我が家の猫たちを眺めながら思いました。



荏原ホーム 事務

たゆた
矢野 遊

